

日本ジャーナリスト会議 (JCJ)  
〒101-0051 千代田区神田神保町1-18-1 千石屋ビル402号  
電話 03-3291-6475 FAX 03-3291-6478  
メールアドレス: jcj@tky.3web.ne.jp http://www.jcj.gr.jp  
年間購読料3,000円(送料込み) 振替・00190-2-76501



# ジャーナリスト

THE JOURNALIST

2015.9.25

## 強行しても違憲は違憲！ 「戦争法案」参院も可決

### 戦争法廃止で統一戦線を!! メディアも“流れ”つくって



戦争法案廃止を要求して、国会を包囲した抗議活動＝9月14日午後、東京・国会正門前で、酒井憲太郎撮影

日本を「戦争が出来る国」にする「戦争法案」安閑閣連法案は、19日午前2時18分、4万人を超える人々が国会を取り囲む中、参院本会議で可決、成立した。強行成立させても「違憲」な

のは「違憲」。道理も憲法も捨て、国会を蹂躪した政府を変え、70年守った日本の平和を守るために、粘り強く闘うことが求められている。5月の提案以来、衆・参両院の審議を中心に、さまざまに議論されてきたが、問題点は増えるばかり。政府答弁は説明にもならない言葉の繰り返し。法案は「反平和主義、反民主主義、反立憲主義」に加えて「反知性主義」であることが次々と暴露された。

そこでは、「砂川事件」を根拠にした集団的自衛権合憲論は完全に崩れ、米艦による邦人輸送やホルムズ海峡機雷封鎖による法律の必要性(立法事実)も崩れた。また「存立危機事態」がどんな場合に認定されるか、「後方支援」と称する兵站は何でもできるのか、輸送の武器・弾薬に限定はないのか――などはすべて「状況に応じ適切に判

断」という白紙委任の違憲立法であることも明らかにしている。こうした中でさまざまな層の国民から「反対」の声が広がった。今回の運動で目立ったのは、労働組合の力が大きかった60年・70年の安保闘争と違って、個人の呼びかけによってさまざまなグループが生まれ、行動したこと。

運動の中心になったのは、「解釈で憲法9条を壊すな！実行委員会」戦争をさせない1000人委員会「戦争する国づくりストップ！憲法を守り生かす共同センター」の3組織による「戦争させない・9条壊すな！総がかり行動実行委員会」

だったが、反原発、反TPP、反貧困などで運動してきた人たちも合流した。

大きな反響を呼んだのは、憲法学者をはじめとする学者、研究者、法律家などの運動と、大学生・高校生などの若者、ママの会などの行動だ。

憲法学者は、水島朝穂早大教授ら38人の呼び掛けで235人が参加、益川敏英京大名誉教授らが結成した「学者の会」には9月までに1万4120人が賛同した。日民協、青法協など法律家6団体も積極的に行動、日弁連も積極的に活動した。

特に注目されたのは、若者の活動。「シールズ」(自由で民主的な日本を守るための学生による緊急アクション)は、SNSや携帯メールなどを活用して全国で運動を広げ

た。9月15日の中央公聴会では、リーターの1人、奥田愛基さん(23)が、「どうか若者に希望を与えるような政治家でいてください」と訴え、多くの共感を呼んだ。

戦争法成立を受けて、問題になるのは、これからの闘い方だ。

一部には「違憲訴訟」を模索する動きもあるが、これまでの最高裁判例は「具体的な権利侵害がない」としており、裁判所が憲法判断する状況をどうつくり、判例自体をどうやって変えるかのハードルは高い。

結局、これからの選挙で与党を敗北に追い込む、法律を撤廃し、本来の平和国家路線の外交を取り戻すことしか決定的なものはない。

国会を囲むデモからは「安倍は辞めろ」「賛成議員を落選させよう」のコールがわき上がったが、戦争法廃止で「国民連合政府」が作れるのかどうか――運動の課題は大きい。(M)

### 秋のジャーナリスト講座

10月4日、10日、21日

秋のジャーナリスト講座が10月4日から始まり。初回は、福島原発事故の被災者取材を続けている毎日新聞の日野行介記者。福島の県民健康管理調査での情報操作、ツイッターで被災者の中傷した官僚など、数々のスクープを同記者は手がけている。

秋のジャーナリスト講座が10月4日から始まり。座が10月4日から始まり。初回は、福島原発事故の被災者取材を続けている毎日新聞の日野行介記者。福島の県民健康管理調査での情報操作、ツイッターで被災者の中傷した官僚など、数々のスクープを同記者は手がけている。

座が10月4日から始まり。初回は、福島原発事故の被災者取材を続けている毎日新聞の日野行介記者。福島の県民健康管理調査での情報操作、ツイッターで被災者の中傷した官僚など、数々のスクープを同記者は手がけている。

座が10月4日から始まり。初回は、福島原発事故の被災者取材を続けている毎日新聞の日野行介記者。福島の県民健康管理調査での情報操作、ツイッターで被災者の中傷した官僚など、数々のスクープを同記者は手がけている。

座が10月4日から始まり。初回は、福島原発事故の被災者取材を続けている毎日新聞の日野行介記者。福島の県民健康管理調査での情報操作、ツイッターで被災者の中傷した官僚など、数々のスクープを同記者は手がけている。

座が10月4日から始まり。初回は、福島原発事故の被災者取材を続けている毎日新聞の日野行介記者。福島の県民健康管理調査での情報操作、ツイッターで被災者の中傷した官僚など、数々のスクープを同記者は手がけている。

座が10月4日から始まり。初回は、福島原発事故の被災者取材を続けている毎日新聞の日野行介記者。福島の県民健康管理調査での情報操作、ツイッターで被災者の中傷した官僚など、数々のスクープを同記者は手がけている。

安倍政権と自民・公明両党は19日未明、「戦争法案」と呼ぶのが最も相応しい安全保障関連法案を、国民の大多数の反対を押し切って参議院本会議で採決を強行し、成立させた。私たち、日本ジャーナリスト会議は、憲法を破壊し、立憲主義を否定する、稀代の悪法と言つべき同法の成立を認めない。私たちは、憲政史上最悪の安倍政権の暴挙に対し、満身の怒りを込めて抗議し、同法の速やかな廃止を強く要求する。

「戦争法」を必要とする根拠とした立法事実が根拠として、安倍政権が「戦争法」に指摘していることを、安倍政権は真摯に受け止めて、畏れるべきだ。第2に、安倍政権が「戦争法」を必要とする根拠とした立法事実が根拠として、安倍政権が「戦争法」に指摘していることを、安倍政権は真摯に受け止めて、畏れるべきだ。

「戦争法」は、根底から崩れていることだ。首相が麗々しく持ち出した「邦人を乗せた米艦防護は、絶対的なものではない」(中谷防衛相)と事実上否定。ホルムズ海峡での機雷掃海にた「戦争法」は、根底から崩綻したことが明白となっている。第3は、自衛隊をアメリカの戦争に際限なく参加させようとしていることだ。「戦争法」の本質

「アロリスト」江草晋二

JCJ声明

違憲の「戦争法」強行採決に抗議し、同法の廃止と安倍内閣の退陣を強く要求する

「殺し殺される」戦闘現場に投入しようとするが、首相はリスクが高まることを認めない。黒を

「アロリスト」江草晋二

「アロリスト」江草晋二

「アロリスト」江草晋二

「アロリスト」江草晋二

「アロリスト」江草晋二



新たな「戦前」を許さない。そのためにペン・マイク・カメラを！JCJ60周年。



# 「戦争アカン」大阪で2万5千人

「手を繋いで歩くデモとか怖いと思ってた。でも、今日は彼氏に誘われて来た。いい加減そろそろ動かなあかん」と、ママの会からも参加。

「保育園でも平和の勉強をした。カブト虫を飼うのが好きな娘が、これが平和なのかな?」

今日のデモは本当にすごかった。人数も、熱気もすごかった。でも本当にすごいのは、今日のデモに参加した人が能動的に動く、はつきりと政治

的意見を伝えることができて、人たちがたまたまだと思つた。政治文化、変わったよ。これから、法案が通過するのを黙ってみていない人たちがいる。

13日夕、大阪市の鶴公園で集会を開いた後、御堂筋をデモ行進した「戦争法案に反対する関西大行動」。主催したSEALDs KANSAI (自由と民主主義のための関西学生緊急行動)からは7月19日のデモに8200人集めていたが、今

回初めて関西一円の青年有志が共催したこともあって、参加者は2万人に膨れあがった。

冒頭に紹介した「声」はこの集会・デモ参加者がツイッターに載せたものだが、大阪のメインストリートに3時間近く「戦争法案絶対反対」「今すぐ廃案」の訴えが響き渡った。

規模の点で圧巻だったのは8月30日、大阪市・扇町公園で開かれた「戦争法案を廃案に! アベ

政治を許さない! 8・30おおさか大集会」。2万5千人が文字通り公園を埋め尽くし、一斉に赤と黄色のプラカード「戦争アカン!」を掲げ、意志表示した。

集会では大学教授、学生、弁護士、宗教者、落語家、国会議員ら多彩な人たちが訴えたが、中でも注目されたのは創価学会員の女性。「安保法案は創価学会の平和主義の主張をくつがえします。平和憲法の解釈変更を沈

黙して支持するなどあり得ません」と訴えた。創価学会については「毎日」が13日の「関西大行動」を報じた記事の中で次のように紹介している。――デモには、公明党の支持母体である創価学会の会員の姿も。兵庫県姫路市の山川知子さん(59)は創価学会の「三色旗」を描いたプラカードを持って行進。

「公明党はもはや政権のブレーキ役ではなく、法案成立に向けて一緒にア

こうした大規模集会だけでなく、連日のように市町レベルでも行われている。――デモには、公明党の支持母体である創価学会の会員の姿も。兵庫県姫路市の山川知子さん(59)は創価学会の「三色旗」を描いたプラカードを持って行進。

「公明党はもはや政権のブレーキ役ではなく、法案成立に向けて一緒にア

「戦争法」が成立、自衛隊は、いつでもどこへでも行き、切れ目なく活動できる法制が整った。そして一方では、動員ではなく、一人ひとり個人として考え、発言する運動が始まった▼「私たちがこの国の当事者、つまり主権者であること、私たちが政治について声を上げることが当たり前なのだ」「いまの反対のうねりは世代を超えたものだ」「新しい時代はも

に闘いを発展させていく」と集会アピールを讀み上げた。

翌14日から16日まで毎夕、市中心部で約60〜100人が法案反対の街頭宣伝。参院特別委員会での強行採決された17日夕は市民900人が原爆ドーム前で集会後、中心部をデモ行進し抗議の声を上げた。

法案が参院本会議に上程された18日夕は広島弁護士会主催の原爆ドーム

う始まっている。もう止まらない――。参院特別委員の中央公聴会でのシールズの奥田愛基君の発言▼「こんなにはつきりし違憲の法律を、ごり押しで成立させた安倍政権への怒りは、まさに列島中を覆っている。しかし法律の廃止と閣議決定の撤回を求める運動は、容易なものではない。例えば

の努力を励まし広げる報道、そして「違憲」の問題意識を鮮明にした自衛隊や政府の行動の監視と告発。秘密保護法を乗り越える積極的な報道も求められる▼どういつ世論を作るかはメディアの責任だ。中国、北朝鮮への反感を煽ったり歴史の歪曲はさせない、思慮深い、落ち着いた世論を作りたい。あくまで反戦、あくまで民主主義。その覚悟が求められている。

# 反戦・反アベのうねり各地で高まる

大きく長く、しっかりとつながら、戦争法反対の強固な思いを被爆地から世界へ発信。「ストップ!戦争法 ヒロシマ実行委員会」は9月13日、

広島市中区の中央公園で7千人を集集し「NO WAR NO ABE」の人文字を浮き立たせた。

人文字づくりの前に、若者や幼児を連れた母親らが太鼓や笛をにぎやかに奏でながら市中心部を行進。中央公園に続々と集まってきた人たちが合

空撮した。

庄原市と三次市の市議の有志代表が登場。地元での反対署名活動などについて「賛同する人が非常に多かった」と報告した。東広島市でデモ行進

をした広島大生の永井千晶さんは「安保法制はあいまいで国民の理解を得ていない。数の力で押し切るのはいけません」ときっぱり。「安保関連法案に反対するママの会」

9月に入っても行動は広がっている。医療生協の病院や診療所前で連日のスタンディング。地域での朝宣伝などの行動が、各地に拡大中だ。9月議会へ向けた意見書の賛同署名も進む。

# NO WAR NO ABE

## 広島で7000人が人文字



広島市中央公園に出来上がった人文字 (提供: ストップ!戦争法ヒロシマ実行委員会)

集まってきた人たちが合流した。人文字は横90メートル、縦50メートルのスペースに構築。集会がたけなわになったころ、報道ヘリコプターなど7機が上空を何度も旋回。「沖縄、福島、岩国とながるう」「みんなの願い、世界へ届け」などの声

福岡県内では、9月6日に県弁護士会が「安保法案の廃案を求める市民集会」を福岡、北九州両市で開き8千人が参加するなど、連日、デモや街頭活動が繰り広げられた。国会の動きに危機感を強めた大学生や若い世代が急ぎよ結成した「Fukuoka Youth

h Movement」のメンバーや、「今声を上げないと後悔する」と思いを強くした高齢者や、子連れの母親らも多種多様な輪が広がった。

国会審議が大詰めを迎えた18日夜にもJR小倉駅前で抗議集会があり500人が法案に対し反対の声を上げた。福岡・天

「戦争法」が成立、自衛隊は、いつでもどこへでも行き、切れ目なく活動できる法制が整った。そして一方では、動員ではなく、一人ひとり個人として考え、発言する運動が始まった▼「私たちがこの国の当事者、つまり主権者であること、私たちが政治について声を上げることが当たり前なのだ」「いまの反対のうねりは世代を超えたものだ」「新しい時代はも

に闘いを発展させていく」と集会アピールを讀み上げた。

翌14日から16日まで毎夕、市中心部で約60〜100人が法案反対の街頭宣伝。参院特別委員会での強行採決された17日夕は市民900人が原爆ドーム前で集会後、中心部をデモ行進し抗議の声を上げた。

法案が参院本会議に上程された18日夕は広島弁護士会主催の原爆ドーム

う始まっている。もう止まらない――。参院特別委員の中央公聴会でのシールズの奥田愛基君の発言▼「こんなにはつきりし違憲の法律を、ごり押しで成立させた安倍政権への怒りは、まさに列島中を覆っている。しかし法律の廃止と閣議決定の撤回を求める運動は、容易なものではない。例えば

の努力を励まし広げる報道、そして「違憲」の問題意識を鮮明にした自衛隊や政府の行動の監視と告発。秘密保護法を乗り越える積極的な報道も求められる▼どういつ世論を作るかはメディアの責任だ。中国、北朝鮮への反感を煽ったり歴史の歪曲はさせない、思慮深い、落ち着いた世論を作りたい。あくまで反戦、あくまで民主主義。その覚悟が求められている。

# 従来のワク超え多彩な広がり福岡

福岡県内では、9月6日に県弁護士会が「安保法案の廃案を求める市民集会」を福岡、北九州両市で開き8千人が参加するなど、連日、デモや街頭活動が繰り広げられた。国会の動きに危機感を強めた大学生や若い世代が急ぎよ結成した「Fukuoka Youth

神でも2500人がデモ行進し「戦争法案は許さないうぞ!平和をあきらめない」などと訴えた。

福岡では県弁護士会が反対を鮮明に打ち出し、多くの大学でも有志が「反対の会」などを作った。斉藤芳朗会長は「戦後70年。政治と社会は大きな分かれ道に立ってい

る。子や孫の世代まで平和と安全な社会になるよう努力すべき」と話す。

夜の街頭活動には市民らが足を止めて安保法案反対の演説などに聞き入っていた。政党や労働組合の動員型とは違つ広がりがあり、個人や友人を誘っての参加が多く、年代や職種を超えた連携が

見られた。参加者の大学生は「何気ない時間を過ごせるのは一人一人の手の中に平和の小さな火があるから。この火を消さぬよう、声を上げることをあきらめてはならない」と強調。

法案は可決・成立したが、北九州市では大学生

# 高松で集会 5000人参加

香川では8月29日に高松の三越前で集会・パレードをして「安保法案廃案」を訴えた。県内の9条の会、革新懇などの主催。県弁護士会会長、民主、社民、共産各党の代表が演説した。参加者は5000人。

30日には高松で若者集会とデモ、丸亀城大手門前で30人余がパレード



# 武器持ち群れる危険指摘 「不戦のつどい」で森達也さん



森達也さん  
森達也さんはオウム真理教の地下鉄サリン事件の後、信者を主人公にドキュメンタリー映画「A」をつくるなどして「自分よりもはるかに善良な人たちのなになぜ」と問い続けてきた。その動機は「絶対そうしたくない」と述べ、一人ひとり

日本ジャーナリスト会議広島支部は、アジア太平洋戦争での降伏調印日の9月2日、広島市中区で「不戦のつどい」を開いた。映画監督で作家の森達也さんが「暴走する政府と萎縮するマスメディア」新たな視点で、今、戦争法案が「このままいくと大きな転換になる。絶対そうしたくない」と述べ、一人ひとり

が集団圧力にあらがいがたい対していることと呼びかけた。120人が聞き入った。森さんはオウム真理教の地下鉄サリン事件の後、信者を主人公にドキュメンタリー映画「A」をつくるなどして「自分よりもはるかに善良な人たちのなになぜ」と問い続けてきた。その動機は「絶対そうしたくない」と述べ、一人ひとり

紹介。メディアもビジネスだから読者・視聴者の関心を引くために事件をますます大きく扱い、不安をあおる傾向が著しいと指摘した。森さんは、群れていれば安心と「集団としてまとまりたい、管理されたい、統制されたい」と集団志向は強まるばかりと述べ、武器を持った集団は世界中でどこでもないことを繰り返してきたと強調。「銃を持たないことを宣言した日本国憲法第九号はすさまじいアンチテーゼ。武器を持つから抑止力が暴走する。九条は崇高なやせがまんだ。それが押し切られかけている。一人ひとりが集団からちょっと踏み出して考え、行動しよう」と語った。(広島支部)

## 特定秘密保護法違憲訴訟結審

### 「法的安定性を重視して判決を」と原告団

## 黒数哲哉さんが意見陳述

フリーのジャーナリスト43人が東京地裁に提起した特定秘密保護法違憲訴訟の第7回口頭弁論が8月21日に開かれた。最終弁論の当日は101号法廷で行われ、傍聴者は90人ほど。結審を前にして、JCJ会員で原告のひとり、黒数哲哉さんが意見陳述した。

黒数さんは、6月の第6回口頭弁論で原告本人尋問に立った林克明と寺澤有の両氏によって秘密保護法施行で取材が困難になってきたことを具体的に示したと述べた。

「(行方不明の安田氏を)海外メディアは報じているが、日本のメディアは委縮しているのか、ほとんど報じていません。安田氏が生還され、シリアでの軍事作戦に関する情報を公開した場合、(日本政府は)『著しく不当な』取材方法とみなし、処罰の対象にするのか、強い関心を抱いています」

この違憲訴訟では2回目口頭弁論から毎回、100人近い傍聴者が来ている。この事実を踏まえて黒数さんは「裁判官に政治判断を排した公正な判決を望む声の反映です。法的安定性を重視して判決を下すことを裁判所にお願します」と陳述を締めくくった。

裁判終了後、東京弁護士会館で行われた報告集会以、原告代理人の堀敏明弁護士はこう述べた。「提訴から一年半もつたのは、傍聴者が多かったこと、原告二十数人がいつも出廷していたからです。裁判所もそれなりの対応を迫られ、原告の意見陳述、原告本人尋問、代理人による準備書の陳述などを実施した。国を相手にした行政訴訟では異例の措置。原告

則に沿った裁判が行われたい。不当な判決を下せないようにするため運動を一層盛り上げて行く必要がある」。また、同じく代理人の山下幸夫弁護士はこう語った。「秘密保護法を司法がどう判断するのかが注目される。同法が憲法違反ではないとするなら、判決文でその理由を述べなければならぬ。1年半の裁判で審理は深

## 秘密法違憲訴訟 9月29日に街頭宣伝

11月18日(水)の東京地裁での判決を控えた特定秘密保護法違憲訴訟の東京原告団(43人)は、9月29日(火)18時から20時まで、JR新橋駅S1広場前で街宣車を置き「違憲判決を求める『秘密保護法廃止』」などを訴える街宣活動を行う。当日はさまざまな人が応援スピーチを行う。元外務省国際情報局長の孫崎享さん、原告側が証人申請している日体大教授の清水雅彦さん(憲法学)、新聞労連委員長の新崎盛吾さん、出版労連

また、原告代理人の堀敏明弁護士、ジャーナリストで原告の安田浩一さんをはじめとした原告団も「NO!秘密保護法」を訴える。通勤・通学帰りの皆さま、参集をお願いします。

## リレー時評



J.C.J.代表委員  
白垣詔男

## 福岡「戦争展」後援断られたが大盛況

今年で21回目の「平和のための戦争展」ふくおか(8月18〜23日、以下戦争展)に福岡市が名義後援を断ったこと

から逆に過去最大級の盛り上がりを見た。昨年まで3年間、名義後援を続けていた福岡市が今年断った理由は「積極的平和主義」というスローガンは戦争行

京のホームページに「安倍首相が用いている『積極的平和主義』というスローガンは戦争行

3理由のうち同市が「講演会を企画した『反核医師の会』(東京)というのは誤りで、同会

福岡」)で、それを同市が東京の「反核医師の会」と早合点したお粗末さによるものだった。市

取り上げた。その結果、初日の来場者数は例年の倍を超す383人だった。最終的にも来場者

大盛況だった。同市長、高島宗一郎は地元民放(九州朝日放送)に自民党所属に。井上は「マスコミを懲らしめる

破って井上貴博(ともに無所属で立候補)を当選させた。井上は当選直後に自民党所属に。井上は「マスコミを懲らしめる

恒例の全国交流会今年、翁長雄志知事を先頭に「辺野古に基地を造らせない」闘いの真つただ中にある沖縄で10月

「新基地建設を阻止すること」を訴えている。「戦争法」強行採決の直後、緊迫した「憲法と安保のせめぎ合いの最前線」ともいえるべき沖縄の闘いの現場で、当事者たちと連帯し、沖縄2紙をはじめメディア関係者との意見交換、「反戦ティーン」ではマスコミ労働者と合同し、交流を深めるなど今回の沖縄交流会は盛り沢山な内容を予定している。阿部裕

## 全国交流会

### 沖縄「新基地阻止」の現場へ

恒例の全国交流会今年、翁長雄志知事を先頭に「辺野古に基地を造らせない」闘いの真つただ中にある沖縄で10月16日〜18日で行う。すでに27人の応募があった。前回の沖縄訪問から3年――この間の選挙での「基地反対派」圧勝にも

かかわらず、政府首脳は「安保法制を最優先」して、「一時、工事中止」――翁長知事と話し合ったが、結局ポーズでしかなかった。翁長知事は仲井真前知事の「埋め立て承認には瑕疵があった」と取り消しを表明。あらゆる手段



# 大野晃のスポーツコラム

10月にスポーツ庁がスタートする。初代長官には1988年ソウル五輪水泳の背泳ぎ金メダリストである鈴木大地・日本水泳連盟会長が就任する。国のスポーツ振興行政を一元的に進めるとい

## 国民のためのスポーツ庁に

い。国民の豊かさを増進させる行政なのである。国の国民スポーツ振興策は、縦割り行政による無駄と歪みを生んだ。こ

のため省庁の枠を超えた一元行政が求められてスポーツ庁誕生に至ったが、文科省の外局という位置づけではスポーツ関連省庁の既得権限はむずかしく、指導力は発揮

つことが何よりも必要である。スポーツ愛好者たちの声に耳を傾け、メダル獲りに一面化するスポーツ振興策の否定から始めねばなるまい。スポーツ愛好者たちを

統合した施策への転換を進めねばならない。5年後の東京五輪開催は好機でもある。獲得メダル数が国民のスポーツ力を示すものではないことは、多くのスポーツ先進国で証明されている。

五輪開催を契機に多くの国民がスポーツを日常的に楽しめる環境整備を推進することこそ、国際オリンピック委員会の理念と一致する。五輪を「観るイベント」として

とらえる間違いを犯してはならない。64年東京五輪は国民スポーツの発展を促した。スポーツメディアが行政を監視し、提言する使命をまっとうすることこそ、国民のためのスポーツ庁に発展させる力になるだろう。

# 「私への攻撃は慰安婦への攻撃」

## 「だから負けられない」と植村隆さん、記者会見で

韓国日報の女性記者が問うた。「攻撃を受け、報道したことを後悔していないか。時間が戻ったら同じ事を書いたか」

記者会見場は韓国政府機関の建物だ。あなたは韓国政府を利用していませんか」と植村隆さんが韓国と日本のジャーナリズムが戦後70年に行き着いたもの

と名乗り出た金学順さんの記事を書いた。1991年に書き、慰安婦問題否定派から攻撃されている元朝日新聞記者、植村隆さんの記者会見は、韓国と日本のジャーナリズムが戦後70年に行き着いたもの

「皆さん」のど真ん中で踏ん張らなければならぬのはジャーナリストだろう。だが、植村隆さんが非常勤講師を勤める札幌の私立北星学園大学に昨

年、「捏造記者植村を解雇しないと爆破する」などと攻撃が殺到したとき、新聞・テレビは当初、報道しなかった。雑誌が取り上げ、読者が新聞社にコピペを持ち込んで黙殺した。朝日新聞が、産経

は皆さんだ。皆さんの中で「皆さん」のど真ん中で踏ん張らなければならぬのはジャーナリストだろう。だが、植村隆さんが非常勤講師を勤める札幌の私立北星学園大学に昨



ソウル郊外の金学順さんの墓前で、慰安婦の尊厳を守ると誓う植村さん

と名乗り出た金学順さんの記事を書いた。1991年に書き、慰安婦問題否定派から攻撃されている元朝日新聞記者、植村隆さんの記者会見は、韓国と日本のジャーナリズムが戦後70年に行き着いたもの

と名乗り出た金学順さんの記事を書いた。1991年に書き、慰安婦問題否定派から攻撃されている元朝日新聞記者、植村隆さんの記者会見は、韓国と日本のジャーナリズムが戦後70年に行き着いたもの

と名乗り出た金学順さんの記事を書いた。1991年に書き、慰安婦問題否定派から攻撃されている元朝日新聞記者、植村隆さんの記者会見は、韓国と日本のジャーナリズムが戦後70年に行き着いたもの

と名乗り出た金学順さんの記事を書いた。1991年に書き、慰安婦問題否定派から攻撃されている元朝日新聞記者、植村隆さんの記者会見は、韓国と日本のジャーナリズムが戦後70年に行き着いたもの

と名乗り出た金学順さんの記事を書いた。1991年に書き、慰安婦問題否定派から攻撃されている元朝日新聞記者、植村隆さんの記者会見は、韓国と日本のジャーナリズムが戦後70年に行き着いたもの

と名乗り出た金学順さんの記事を書いた。1991年に書き、慰安婦問題否定派から攻撃されている元朝日新聞記者、植村隆さんの記者会見は、韓国と日本のジャーナリズムが戦後70年に行き着いたもの

と名乗り出た金学順さんの記事を書いた。1991年に書き、慰安婦問題否定派から攻撃されている元朝日新聞記者、植村隆さんの記者会見は、韓国と日本のジャーナリズムが戦後70年に行き着いたもの

と名乗り出た金学順さんの記事を書いた。1991年に書き、慰安婦問題否定派から攻撃されている元朝日新聞記者、植村隆さんの記者会見は、韓国と日本のジャーナリズムが戦後70年に行き着いたもの

## 知事、埋め立て承認取り消し表明

### 国との総力戦を迎え県民の結束強まる

9月14日午前10時、記者会見した翁長雄志知事

国と県との1カ月の「休戦」、その間の集中協議は決裂に終わり、自民

党出身の知事をなんとか籠絡しようとした安倍政

権のもくろみは見事に外

れた。逆に、翁長知事の

「言葉の力」が沖縄県民の

を担ってきた人々をはじ

め多くの県民の待ちに待

た瞬間だった。

激化する集會が行われ、

取り消し表明が伝えられ

ると歓声が沸き起こっ

た。海上では、カヌーチ

ームが10時を期して一斉

に(臨時制限区域を示す)

フロート越えを行い、知

事にエールを送った。

県知事をはじめ県民が

どんなに反対しても安倍

政権は辺野古基地建設を

朝6時から翁長知事を

激励する集會が行われ、

取り消し表明が伝えられ

ると歓声が沸き起こっ

た。海上では、カヌーチ

ームが10時を期して一斉

に(臨時制限区域を示す)

フロート越えを行い、知

事にエールを送った。

県知事をはじめ県民が

どんなに反対しても安倍

政権は辺野古基地建設を

朝6時から翁長知事を

激励する集會が行われ、

取り消し表明が伝えられ

ると歓声が沸き起こっ

た。海上では、カヌーチ

ームが10時を期して一斉

に(臨時制限区域を示す)

フロート越えを行い、知

事にエールを送った。

## むのさん招き講演会

菊地正志



ジャーナリズム・メディアの再生をテーマに開かれた「むのたけじ100歳の集い」=2015年3月8日、さいたま市

埼玉では、市民がジャスデ定期的な学習会を開いている。地元メディアの埼玉新聞やJCJメンバリーも運営に協力している。これまでに18回開催された。主な講師は齋田隆史さん、北村肇さん、竹ト、むのたけじさん(14年にJCJ特別賞受賞)を迎え、「100歳の集い」を開催した。

むのさんは、自らの従軍記者の経験に基づき、戦争の事実を伝えず戦争責任を取らなかった新聞記者の在り方に苦言。「歴史の波に自分を見失い、やるべきことに気付かなかった。ジャーナリストが戦争を検証し、戦争を裁かなければメディアの再生はない」と訴え。安倍政権が進める戦争につながるかねない動きに懸念を示しながらも、「命ある限り、戦争のない世の中を求めている」と力強く語った。



連載



# NHKは市民に包囲された

## 「政権べったり報道はやめろ！」と千人超

8月25日(火)はNHKにとっても、NHKの報道に抗議する市民にとっても、歴史的な日となった。この日の夕方、東京渋谷の放送センターをぐるりと包囲した1000人を超える市民たちは



8月25日に行われたNHK大包围 写真=尾崎孝史

「政権べったりの報道はやめろ、怒りの声でNHKを包囲しよう」とのシュプレヒコールを繰り返した。今まで、右翼などがNHKの放送に関する抗議行動をしたことは何度かあるが、1000人を超える市民がNHKの政治報道について怒りの声を上げたのは歴史的な出来事だった。

この行動の発端は3月9日の参院議員会館の院内集会にあった。NHK初井会長は就任会見以降も問題発言が多く、視聴者市民による抗議が続き、罷免を要求する署名も増えていった。

「放送を語る会」「NHKを監視・激励する視聴者コミュニティ」「日本ジャーナリスト会議」などのほか、各地で生まれたNHKを考える会が「初井会長NO! NHKを国策放送局にするな」の院内集会を開き、会場には賛同26団体、140人が詰めかけた。秋田から屋久島までの「NHKを考える会」がそれぞれ発言し、安倍政権に屈せず、放送の自主・自立を守れなどと求めた。そして、これほど高まった市民の声をNHKを包囲して直接届けようという提案があり、参加者の共感を得たのである。

8月25日当日はNHKを包囲して、放送センターの三つの入り口でリレートークとシュプレヒコールが行われた。リレートークした15名のうち、元NHKプロデューサーの永田浩三氏は「この夏、NHKは良い番組をたくさん放送した。しかし、安保法案の政治ニュースは安倍の政策を説明するだけだ。安倍がそんなに怖いのか。NHKは受信料が育てた宝物だ。皆さんの手に取り戻そう」とトークした。

市民からも、NHKニュースには安倍首相の顔が異常に出てくるのか、NHKニュースの編集方針に、なぜ安保法案の項目が少ないのかなど、批判もあった。



東京モールの被害女性の写真前で訴える安世鴻さん=9月4日、東京・新宿で、酒井憲太郎撮影

### 写真展

#### 「慰安婦」日本軍性奴隷

東京都新宿区の神楽坂セツシヨンハウス2Fガラーデンで9月4日から13日まで写真家安世鴻さん(44)の写真展が開かれた。安さんは2012年新宿コンサロで「慰安婦」写真展が中止され、提訴している。今回は2014年6月から11月に掛けて、五カ国(インドネシア、韓国、中国、東チモール、フィリピン)で訴える人が増え、ギャラリーオーナーの理解を得て開催できるとのこと。酒井憲太郎

出版部会10月例会

悪夢の超特急 リニア新幹線—その闇を暴く 標記の書籍で本年度J C J賞を受賞した樫田秀樹氏が、リニア新幹線の危険性を語る。

日時 10月23日(金) 18時30分

場所 岩波セミナールーム(神保町・岩波ブックセンター3F)

参加費 500円(会員・学生300円)

問い合わせ 03(3291)6475

映像がUチューブで流され、リレートークの内容も多くの人たちの関心を集め、次の包囲行動を希望する声も大きくなっている。

今井潤(NHK包囲行動実行委員会)

1998年、ジエームス三木が青年劇場に書き下ろし、かつ演出した作品である。その後2005年まで全国を巡演したが、今回劇団の創立50周年記念公演として、スタッフ・キャストを一新しての再演である。今回の演出は板倉哲。

1946年2月4日、GHQの最高司令官マッカーサーは民生局に1週間、局長は天皇から立法、司法、行政、財政、人権等々のテーマごとに分かれて、不眠不休で日本国憲法草案の作成に取り掛かった。

彼女が、まず女性の人権を保護することを憲法に取り込もうとした。上司からは「具体的すぎる」などといわれて彼女の思いが十分に満たされたわけではなかったが、それでも男女平等とか、社会福祉の向上などについての彼女の貢献は大きい。

# 米、イラン核交渉批准へ

イスラエルの建国67

13年越しのイラン核交渉が7月14日妥結を見た。イスラエルはこれに猛反対し、米連邦議会上院での批准差止めを狙って猛烈なロビイ活動を展開してきたが、オバマ大統領はこれをしのいで批准を勝ちとれそうだった。

13年の歴史を通じて、米国の中東政策はイスラエルびいきに片寄ってきたが、オバマ大統領は初めてイスラエルの反対を押し切って、イラン核問題の交渉解決にこぎ出たという次第だ。

13年に何度も交渉は決裂しかかり、イラン核施設の爆撃・破壊を辞さないとするイスラエルを米国が押さえ、交渉を続けてきた結果がようやく出たという次第だ。

核兵器開発を否定しながらも原子力平和利用の権利を掲げるイランは、2年前に穏健派のロウハニ大統領が選出されてから交渉に柔軟姿勢を見せてきた。

核兵器開発を絞った外交解決に不信を抱くイスラエルと米イスラエル・ロビーはこの合意を「歴史的誤り」と非難している。イスラエルが嫌がることはしな

いという米外交のタブを越えてきた。この

器禁止に目標を絞った非核保有国に対して、米

イスラエルはNPTに加盟せず、独自に核兵器を開発、保有していることは衆知の事実だ。

自国の核保有にはノーコメントを続けながら、イランの核開発は武力に訴えてでも封じるべきだというイスラエルの横暴は、これまで米国のおかげで通ってきた。

しかしオバマ大統領は今回初めて、イスラエルの反対を押し切った。



つづけた。02年にイランが秘密裏に核開発を進めていることが発覚して以来、国連安保理常任理事国にドイツを加えた6カ国とイランの交渉が続いてきた。この

イランのウラン濃縮能力を大幅に制限して国際監視下に置き、核兵器開発への道を閉ざす一方、米欧はイランに対する経済制裁を解除する、という合意である。

外交解決に不信を抱くイスラエルと米イスラエル・ロビーはこの合意を「歴史的誤り」と非難している。イスラエルが嫌がることはしな

いという米外交のタブを越えてきた。この

器禁止に目標を絞った非核保有国に対して、米

イスラエルはNPTに加盟せず、独自に核兵器を開発、保有していることは衆知の事実だ。

自国の核保有にはノーコメントを続けながら、イランの核開発は武力に訴えてでも封じるべきだというイスラエルの横暴は、これまで米国のおかげで通ってきた。

しかしオバマ大統領は今回初めて、イスラエルの反対を押し切った。

イランの核開発は武力に訴えてでも封じるべきだというイスラエルの横暴は、これまで米国のおかげで通ってきた。しかしオバマ大統領は今回初めて、イスラエルの反対を押し切った。

## 青年劇場 『真珠の首飾り』 GHQの側から描いた日本国憲法草案の作成

### 演劇回り舞台



撮影V.V.A.W.E

本作の主人公ベアテ・シロタ(高木アヤ乃。初舞台だそうだが、初々しく好演)は、弱冠22歳で自ら希望して日本に赴任、人権委員会の担当となる。彼女は口

いかに人権上虐げられていたのかを見聞きして

だ役に立ちます」 (9月11〜20日 紀伊國屋ホール、24日 大田区民プラザ、25日 かめありリリオホールにて上演)

安住邦男



安倍改憲クーデターとメディア支配アベ政治を許さない

丸山重威

# 「新しい戦前」を目指す安倍政権の全体像

著者は、元ワシントンポスト編集主幹ベンジャミン・ブラッドリーの言を引用し、自著について「ジャーナリストは歴史のデッサンを描く」と書いている。

デッサンとは日々生起する個々の事実を拾い出す



定し、米国に従って軍事大国を目指す、そのためには国民が戦後培ってきた、民主主義的志向のすべてを否定する、著者の言う「新しい戦前」の創出である。

党の得票率が全有権者比で約17%（比例区）、選挙区で25%に過ぎなかったからであり、解釈改憲や原発推進など選挙公約に示した個別政策への民意が、当初から安倍政権の政策を支持していなかったからだ。

## 書評

本・BOOK・ほん

（価格は税別です）

ドキュメント「時の政権と出版メディアの攻防」 山了吉

# 政権が手を伸ばす出版規制の動きに 対峙し闘い続けた成果の記録



ある。

著者は、15年間日本雑誌協会の編集倫理委員会に所属し、勇退するまでの10年間は委員長を務めた。その立場から、その時々立ち上がった出版規制法案に対し意見を述べ、様々なメディアで見解を表明して来た。

本書は、政権と出版界との攻防史であると同時に、著者がまとめた「表現・出版規制に関する年表」と併読すれば、まさに連続して出版規制が行われて来たことがよく分かる。

一般にはあまり知られていないかもしれないが、個人情報保護法や裁判員制度の導入に際しても、取材・報道の自由を阻害するのではないかと

本書は、副題にある通り、「時の政権」が出版メディアの報道・表現に法を奪おうとする動きと、それに出版界としてどう考え、立ち向かって来たのかという詳細な記録で

朝日新聞取材班

検証「イスラム国」人質事件

# 邦人救出に冷淡だった安倍政権の 動向と人権感覚を掘り下げる



し、事件を掘り下げていく。

取材に当たった政治部、国際報道部、社会部などの各記者が実名で胸の内を語っているのがいい。

安倍政権の冷たい姿勢は、縁あって後藤さんの母親の石堂順子さんと数年前から知り合いで、記者会見などに同行。1月28日には、ある参院議員事務所まで石堂さんと外務省領事館の飯田慎一政策課長が面談したとき、立ち会った。課長は「今後私が連絡役を務めます」と申し出た。だが、それ以降、1回も連絡はなかった。「政府の態度は冷たすぎる」と石堂さんが憤ったのを今でも鮮明に覚えている。

湯川遥菜さんと後藤健二さんが今年1月に過激派組織「イスラム国」に殺害された事件について、朝日新聞は、2月と4月に検証記事を大きく掲載した。本書はその記事をベースに大幅に加筆

安倍首相は終始「素っ気ない態度」だったと感想を書いている。殺されてもやむなしと思っていたのではないのか。

## 短歌

現代の窓

評小石雅夫

大畑 恵子（熾）

長く生きて時には祝福されている戦後七十年危うき今を 歌壇9月号「テレビを消して」

抑止力とは理不尽にして古くより干戈無用とつたえて来たる 同

余命などさもあらばあれあしたの米を音たててとぐ 同

戦争の不安を身近なものとしてテレビを消してなお動悸する 同

核と反核の70年 恐怖と幻影のゲームの終焉 金子敦郎

# グローバル・ゼロへ確実な歩み 核保有戦略は「恐怖の幻影」



が核削減の合意にたどり着いた歴史や、レーガン、ゴルバチョフ両首脳が核削減交渉で、やり合う姿も描写されている。

オバマ大統領が2009年4月5日のプラハ演説で「広島、長崎に原爆を落とした米国は核廃絶に向けて行動する道義的責任がある」と述べたことは、核廃絶への期待を一気に高めた。

だが6年後の今年、開かれた核拡散防止条約（NPT）再検討会議で、米国をはじめ核保有国は、核兵器禁止条約を提案した非核保有国の願いを拒否した。

また本書は、冷戦中にソ連とやりあったキッシンジャー、シュルツ、ペリー氏ら元米高官4人組が核廃絶を訴え、これに応じた若手の学者などによる国際的な「グローバル・ゼロ」核兵器のない世界を、など、活発な活動も紹介している。

著者は、共同通信のワシントン支局長を務めるなど、国際畑を中心に記者活動56年の大ベテラ

本書に、原爆投下を命じたトルーマンが終生、後悔を抱えたこと、その後、歴代米大統領が「使えない核」を抱えて冷戦を続け、最終的には米ソ

安倍首相の冷酷さが本書を通して伝わってくる。ある記者ナリスト



# 映画の鏡

## 発見された天才写真家

### 『ヴィヴィアン・マイヤーを探して』

#### ミステリアスな生涯、15万枚のネガ

今年の写真家に関する映画が多い。『セバスチアン・サルガド』はヴィム・ペンダースが監督した、飢餓から自然保護までを視野に入れたサルガドの世界を描くもの。『フリーダ・カーロの遺品』はメキシコの女性画家の服や靴などの遺品を現代日本最高のカメラマン石内都が撮るドキュメンタリー。『未来をなぞる写真家山直哉』は母を3・11で失った日本有数の写真家が大震災について哲学的に語る作品である。しかし、この『ヴィヴィアン・マイヤーを探して』はそれらとは異なる。その一部をラログにアップした人、熱狂的な賛辞が寄せられた。生涯独り身を費し、変人かつ、途方もなく孤独な人で、83歳で死ぬときから高い評価を受け、世界の主要メディアも彼女の写真を絶賛した。その写真の権威によってその価値を認められたのではなく、写真そのものの力によって、見る人の心を魅了していったことがわかったのである。



©Vivian Maier\_Malooof Collection

監督は「ただのミステリアスなアーティストの物語ではなく、写真の歴史を変えた物語となることを望んでいる」と述べている。(10月10日より渋谷イメージフォーラムで公開)

今井潤

参院での戦争法案審議は、終盤で野党の抵抗、国民の声が一段と強まり緊迫した。安倍暴走内閣に歯止めを掛け、戦争法案を廃案にすべきだと訴えてきた各紙(西部)のうちでは毎日の助走からの粘り腰と危機感が際立つ。朝刊社説では、9月7日付から「安保転換を問う」のワッペンを付けて、随時懸念を払しょくできない

## 新聞

### 際立つ「毎日」の助走からの粘り腰

国連平和維持活動(PKO)に関して議論が深まらず、「政府案のままでは、武力行使につながる懸念を払しょくできない」と指摘。10日「参院

決方針」で「議院政治壊すつもりか」と両日とも「一本社説で力を入れ、政府答弁の矛盾を突き痛烈な批判を展開した。さ

破綻した、15日「週内採決方針」と、なおも「廃程速い」と、なおも「廃案にせよ」と訴えた。朝日は15日「安保法案は果たした。両紙とも社説で、それまで散発的に

## 月間マスコミ批評

戦後70年目の今年は、8・15を中心に例年にも増して戦争に関連する力のこもったテレビ番組が

の落胆と安堵感の中に、兵士の看病も満足に出来ないまま次々に死者も、苦難を生抜いた女性

NHKはこれまで「兵士たちの戦争」など数多くの証言記録の番組を世に問うて来たが、気にな

## 放送

### 戦争検証番組、加害と被害の全体像を

戦後70年目の今年は、8・15を中心に例年にも増して戦争に関連する力のこもったテレビ番組が

戦いでおびただしい犠牲者を出した兵士同様、後方の兵站病院の従軍看護婦たちにも悲惨な毎日があった。

NHKはこれまで「兵士たちの戦争」など数多くの証言記録の番組を世に問うて来たが、気にな

◇村上春樹さん新刊、9割買い取り〜紀伊國屋、ネット書店に対抗

紀伊國屋書店は、村上春樹さんの新刊「職業としての小説家」(スィッチ・パブリッシング)の初版10万部のうち9万部を買い取る発表をした。

アマゾンなどのインターネット書店に対抗するため、自社の店舗で販売するほか取次会社などを通じて他の書店などにも卸す。ネット書店での初版の販売は5千部に

◇ヘイトスピーチ禁止見送り「表現の自由」

野党に溝

特定の人種や民族への差別をあるヘイトスピーチを禁じる「人種差別撤廃推進法案」について、自民・公明の与党は国会での採決を見送る方針を固めた。

◇メール、258万通消失

◇加害元少年の実名掲載

◇「週刊ポスト」



9日付ほか) 9月14日付夕刊(毎日)9月14日付夕刊(毎日)9月14日付夕刊(毎日)



# これからのジャーナリズムのあり方

## JCJ賞 3受賞者の座談会

どのような思いで日々の取材をしているか、これからのジャーナリズムのあり方などについて、JCJ賞の新聞系受賞者3人による座談会を8月16日、事務所で開催。「普天間・辺野古問題を追及する琉球新報の松元剛編集局長、獄中メモをもとに北海道綴方教育連盟事件を発掘した北海道新聞の佐竹直子記者、安保法制をめぐり憲法学者の違憲発言をいち早く紙面化した東京新聞の金井辰樹政治部長に語り合ってもらった。

—JCJ賞を受賞されてどうでしたか。

佐竹 北海道新聞というブロック紙の中で、さらに釧路・根室地域にしか行かない記事の評価していただき、励みになった。新聞社のおもにローカルな記事を書いている私のような人はほかにもいる。正当に評価していただいたことが非常にうれしい。



松元剛・琉球新報編集局長

金井 受賞に際してというと、正直言って若干面はゆい。「これが何のスクープかよ」と思う人は世の中にいっぱいいると思う。政治部の記者たちはつい何年か前までは政治家が言つこと

確認する作業を書庫にもって3〜4時間やった。その過程で獄中メモを見つけた。

### 記者生活の節目

—記者生活の節目になつたような事件などありますか。

松元 僕の原点は司法担当のとき。1992年に3人組の米兵が沖縄市・嘉手納基地のゲート前にある店に入って、79歳のおばあを殴つて、カウントーにたたきつけ、200ドルを奪う強盗事件があった。翌93年には嘉手納をもらって喜んだ親夫が家を建ててあげた。だが日に70〜80回、多いときは100や120回にもなる爆音に、お嫁さん



佐竹直子・北海道新聞記者

んをもらって喜んだ親夫が家を建ててあげた。だが日に70〜80回、多いときは100や120回にもなる爆音に、お嫁さん

## 松元 新基地阻止、民主主義の証し

## 佐竹 地道な作業で獄中メモ発掘

## 金井 政局報道をやめ政策報道に

たのは、おそらく新聞全体で、デモの真ん中でいつも取材をしたり、大学の憲法学者全員にアンケート調査をして意見を聞いたりと、政治家ではない人の意見を吸い上げることをしていたからではないか。そういう意味ではスクープと呼ばれても若干納得できることがある。

—佐竹さんが綴り方事件に興味を持ったきっかけは。

佐竹 夏の終戦企画で、教科書の墨塗りテーマに95歳の元教員を取材し

文学館に寄贈することを検討していると書き入れた。そうしたら担当デスクがその3行を削って私に指示した。「大事なものが遺品の中にあるかもしれない。出張旅費をつけてやるから、札幌まで見て行って来い」と。デスクの判断が素晴らしい。

納基地内で米兵による女性レイプ事件も起きた。基地内に逃げた米兵に対し、警察は任意の取り調べしかできず、容疑者は米国へ逃げた。基地問題の取材をしなければならぬと強く思った。

金井 僕は1999年から2002年の夏まで、ワシントン特派員だった。ちょうど2011年9月11日にテロがあり、まさにペンタゴン（米国防総省）とは目と鼻の先で仕事をしていたので、ペンタゴンに飛行機が突っ込んだ時はお尻にズシリと衝撃を感じた。それで帰国し、政治部という古巣に戻ったら、すくなくつまなく感じた。自民



金井辰樹・東京新聞政治部長

党何派がどうだとか、国対委員長会議がなんだとか。もうペンを折るかか燃え尽き症候群の時期すらあった。マニフェスト（政権公約）という言葉と出合ったのが僕自身のターニングポイントだ。政治報道を変えてみようか。政局報道をやめて政策報道に傾斜してみようかというのを03年くらいからやりました。

—佐竹さんが記者になつたきっかけは。

佐竹 大学を1989年に卒業し、NNTに就職した。次に広告代理店の営業職をした。その時、父親が倒れたので、会社を辞め、釧路に戻って父の介護をした。ただ母親に少しかけておいてほしいと頼み、当時募集があったNHKのテレビレポーターを始めた。介護3年を経て父は他界。テレビ

政府批判報道

—政府批判の記事を書くこと、取材しにくくなることはないですか。

松元 沖縄の2紙はいつも政府にたてつくばかりだから、もう琉球新報には話さないよという官僚や政治家はいる。それを何とかくぐり抜け、情報源と信頼関係を結んでいる。8月12日に沖縄で米軍ヘリが墜落した時も、発生から2時間半後に、東京支社はヘリに自衛隊員が乗

ついていた情報をつかんでいた。さらに定員オーバーだったことを一面で書いた。

6月の百田尚樹さんの、沖縄の2紙はつづぎなあかんという発言と自民党議員の発言。沖縄の2紙は左翼に乗っ取られ県民を誘導しているから、こんな状況になつていくという言いぶり。これは沖縄の人たちは新聞に引張られる、民度の低い、判断能力のない県民なんだと侮蔑しているのと一緒だ。

金井 自民党議員や権力者がけしからんと言つて、知っていることを東京新聞に教えない、あるいは他社だけに教えることがあるかもしれない。でもその内容はたぶん明日発表されるようなレベルの話だ。それはまあいいやと考えている。

—戦争法案反対で大学生や高校生が動き始めたことをどう見ますか。

松元 社会を変える中核に自分たちもなり得るとしている。参政権が18歳以上に認められた。安倍さんは絶対、新聞なんか読まない、情報の間口が狭い若者が増えているから、自分たちに有利になると高を括っていたと思うが、ブーメランのように刺さってくる感じになつている。

金井 高校生・大学生を取材していると、ひよつ

としたら戦争が起きるかもしれないと少し現実味を帯びて感じ、危機意識を持っていく。ただ若者言葉に「意識高い系」がある。ちょっといい子ぶつて、というような人たちを指す。若者の運動もまだ「意識高い系」疑惑から抜け切れていないと思う。そうではなくると一つのブレイクスルーになる。

—今後の課題について一言ずつ。

佐竹 町の人たちの声を大事にし、一つ一つ拾い集めて、雑草のように地をはいくばつて記事を書いていきたい。JCJ賞の選考レベルは下がることなく門戸は広く開いて、書き始めたばかりの人、地方で仕事をしている記者など末端のジャーナリストを励ましてほしい。

金井 「論点明示報道」をさらに高めていくことに尽きる。論点明示のフラッシュアップの一つとして、主観的ではない客観的な論点明示報道に力を入れた。ファクトや数字で論点を明示していく。

松元 沖縄の新基地建設を止める闘いを全うさせたい。新基地を止めることとは沖縄にとっても日本全体にとっても、民主主義が生きていることの価値を示すことになる。

まともー須貝道雄  
写真 酒井憲太郎